



Dogtraining Office-canine

生後3ヶ月から始める
しつけマニュアル(上)

お買い上げしていただき、誠にありがとうございます。

読んでいただき、愛犬を幸せに暮らせる環境の少しでもお手伝いになればと思います。また、いつか家族に迎えると考えていらっしゃる方にも今後のお役に立てればと思います。そして、動物関係のお仕事をしている方、その他犬に対する知識を取り入れていただき、手助けになればと願っております。

～目次～

「犬のしつけ開始時期」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 03

- ・ 犬の行儀作法と仕事。しつけ改善を行う期間。
- ・ 問題行動改善のタイミングと生後3ヶ月からのしつけ方法
- ・ 生後3ヶ月のしつけ開始時期になるまでの内容
- ・ 社会化の思考と記憶による行動に合わせ、YES・NOを記憶に入れる方法。
- ・ 誉めて伸ばすしつけ方法について

「生後3ヶ月から始めるYES・NO」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

- ・ NOをYESに変えていく、繰り返されるイタズラ行動について。
- ・ 誉めて伸ばすしつけの準備方法
- ・ 犬に言葉をかける習慣を飼い主が身につける。
- ・ その意味に適した短い言葉を使う・動物愛護法

「経験と習慣、記憶によって言葉の意味を読み取らせる方法」・・・・ 17

- ・ 誉めるときは「日本語」指摘するときには「英語」
- ・ 指摘するときの言葉は統一する。
- ・ 【叱る】と【罰】の違い。
- ・ 罰の使用は必要なのか
- ・ 問題行動激化によって飼育放棄された犬

「犬のしつけ開始時期」

よく聞かれるのが「しつけ」と「訓練」とはいったいどのような違いがあるのか。という質問があります。おそらく、しつけとは「おすわり」や「トイレのしつけ」など誰でもできて簡単そう、訓練とは「警察犬の訓練」「盲導犬の訓練」などある専門分野の中で行われていて難しいというイメージがあると思われます。

ドッグトレーナーの僕でもやはり文字だけで見るとそのようなイメージになります。しかし、実はどちらも正しい意味があるのです。

まず、そこを分かりやすく解説していきましょう。

「しつけ」とは、ということは僕たち人間社会の日常生活に一番関係が深い生活の中での教育人間でいう行儀作法（騒がない、大人しくする、他に迷惑をかけない、礼儀正しくする等々）をしつけとしています。

「訓練」とはしつけの行儀作法を踏まえた上で、さらに警察犬、盲導犬、セラピードッグなど人間社会の中で役に立つ手助けをする教育、僕たち人間でいう仕事を行うのが訓練としています。

僕はもちろんドッグトレーナーとして、「しつけ」「訓練」どちらも行っています。

そして、「しつけ」「訓練」どちらも難しいことはありません。簡単とも言えませんけど。どちらとも言えるのは必要なのは「忍耐」です。

よくしつけ相談で質問されるのは「すぐに良くなりますか？」という質問。

答えは「NO」です。ただし、年齢が若ければ若いほど改善する期間は短くなります。完全に問題行動を改善させたいと思うのであれば、年齢分+1年の期間と考えていただければ、これから説明する内容が分かりやすくなると思います。

例えば3歳の犬で問題行動に困り果てて、どうにかしようという方がいます。問題行動をし始めた時期にもよりますが、この犬は1歳未満から問題行動をし始めたとしましょう。となると、1歳未満～3歳までの約3年間、その問題行動は犬にとって「当然のこと」となります。それをいきなりダメと言っても犬は混乱して余計に問題行動が悪化するでしょう。もちろん即効性があるしつけ方法もあります。ですが、それは相当犬にストレスをかけてしまう可能性や、そのやり方が犬に合っていないければ逆効果にもなります。

なので僕はこの即効性のあるしつけ方法は、余程ではない限り（近所で苦情が来ている。家の中が破壊されている、もはや飼い主では手に負えない等々）は使用しません。

やはり時間をかけて「当然のこと」を「当然のことではない」ということを犬に分かってもらうことが大切なのです。

「当然のこと」であったことを、約3年をかけて焦らず徐々に改善していきます。

問題行動が起こしていた－3年を年齢分の時間をかけて±0年の状態までにします。

その後に、ようやく「当然のことではない」ということを1年かけて教えてあげれば完全に改善されることになるでしょう。

ということは、「あれ？おかしいな」と思ったらそのままにせず、すぐに行動することをお勧めします。これがまだ年齢1歳の犬であれば改善にかかる期間が短くなり、生後8か月や6ヶ月などまだ幼い犬であれば数年ではなく数ヶ月で改善の見込みがあるのです。逆に5歳、8歳、10歳までになってしまうともはや手遅れの状態になっていることもしばしばあります。

「まあ、今はいいや」という飼い主の考えが、今後「大切な存在」が「邪魔な存在」に変わる可能性もあり得てしまうのです。

となると、しつけの開始時期というのは問題行動が起きてしまう前に行動を取るのが一番になります。

ではいつ頃が適しているのか。

それは自我が目覚めヤンチャになり始める生後3ヶ月から開始するのをお勧めします。

なぜ3ヶ月からなのか。犬は生後3ヶ月から【社会化】が始まります。

だからと言って、いきなり「おすわり」や「まて」、または叱りつけるというしつけは行ってはいけません。

それよりも、大切なしつけがあります。

試し読みいただき、ありがとうございます。

続きは、お買い求めください。